

名古屋市立春岡小学校での出前講座実施報告

名古屋自然保護官事務所は、6月11日に名古屋市立春岡小学校にて出前講座を実施しました。

小学校3年生2クラス(44名)を対象に、総合学習の時間に藤前干潟の生き物と環境について知ることを目的として、出前講座を実施しました。

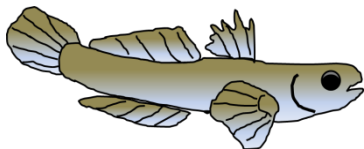
講座の内容は、主に藤前干潟の特徴と生息する多様な生物の紹介、漂着ごみの問題と現状です。

今回も干潟の泥や生きものを持参して触れてもらい、体感してもらいました。カニが登場すると皆さんは歓声を上げて飛びついていました。カニの行動や色、形をよく観察するとハサミの大きさが左右で違うことや、雌雄で腹面の形態が異なることに気付いているようでした。

二枚貝が持つ特性を知ってもらうために、今回もシジミを使った水質浄化実験を実施しました。皆さんは事前学習をしており、どのような結果になるのか分かっているようでしたが、実物を目の当たりにすると大変驚いている様子でした。

藤前干潟には多くの生きものが住んでいますが、漂着ごみや釣り具等で生きものが苦しんでいる現状を紹介しました。藤前干潟に実際に流れ着いた漂着ごみもペットボトルに入れて持参し、観察してもらいました。皆さんはペットボトルに入れられた釣り具やライター等をいろんな角度から観察していました。漂着ごみは干潟だけの問題ではなく、海に流出して海洋生物にも影響を与えることを説明しました。

今回講座を受講した3年生の皆さんは、4年生の社会科の授業でゴミ問題について学習する予定で、藤前干潟での事例が取り上げられるそうです。今回の講座で藤前干潟に関する事前学習を行ったので、藤前干潟のゴミ問題への理解がより深まるのではないかと思います。



講座の様子

◆実施概要◆

実施日：平成26年6月11日(火) 10:45~12:25
 場所：名古屋市立春岡小学校(千種区)
 対象：小学校3年生(2クラス、計44名)
 対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講座の内容◆

テーマ	藤前干潟の生き物と自然
1.	「ひがた」ってなに？ ・何からできているのか、どこにあるのか？ ・干潟の不思議な特徴
2.	干潟に住む多様な生き物たち ・貝類、カニ類、鳥類の紹介
3.	藤前干潟の悩み ・ごみの被害者 ・干潟に流れ着くたくさんのごみ
4.	まとめ



2014年6月12日
 名古屋自然保護官事務所
 アクティブレンジャー 上野淳一